



豊中市立第十六中学校 校長 山本昌幸

学校教育目標

自ら学ぶ姿勢をもち 豊かな心で
前向きな行動力のある生徒の育成

【夏休みを終えて、2 学期へ】

2 学期が始まり、早くも中間テストを迎えます。ついこの間まで夏休みだったはずなのに、もうずいぶん遠い昔のことに感じます。この夏、地域を歩いて防災マップを作った人、数学の難しい問題に挑戦した人、部活動で努力を続けた人、笑顔であいさつをした人、そして誰かのために行動した人。それぞれに、さまざまな夏休みがあったことと思います。大切なのは、「誰かがする」のを待つのではなく、「自分がする」ことです。「ごみを拾う」「困っている人に声をかける」「あいさつをする」そんな小さな一歩が、周りを変えていきます。これから体育大会、文化祭、委員会活動など、みんなで取り組む機会が続きます。自分にできることを考え、自分から一歩動く。そんな 2 学期にしてほしいと思います。

【3 年生 チャレンジテスト】

9 月 2 日、3 年生を対象とした大阪府のチャレンジテストを実施しました。生徒たちは、これまでの学習の成果を発揮しようと、一人ひとり真剣に問題に向き合っていました。今回のテストを一つの機会として、これまでの学習を振り返るとともに、これからの学習や進路に向けて、自分の力をさらに伸ばしてほしいと思います。保護者の皆様には、日頃からお子様の学習を支えていただき、ありがとうございます。

【「自分が動く」防災学習・地域活動（WAKUWAKU プラン）】

本校では今年度、防災教育を「自分の命を守る」だけでなく、「地域の中で、自分にできることを考え、行動する」学びとして進めています。7 月 28 日には、生徒約 20 名が地域を歩き、防災の視点から校区の危険箇所や避難場所を確認しました。8 月 4 日には、街歩きで気付いたことを持ち寄り、学校や地域にどう広げていくかを考えるワークショップを行いました。2 学期の始業式では、その学びを全校生徒に発表しました。また、Team Link16・Team Link16+（卒業生）の活動では、地域の一人暮らしの高齢者の方へ暑中見舞いのはがきを送りました。生徒たちからは、猛暑を気遣う言葉や「ボランティアや受験勉強に頑張ってください」といった温かいメッセージが寄せられました。大切なのは、「誰かがする」ではなく「自分がする」ことです。小さな気付きや行動が、誰かを支え、地域を支える力になります。これからも「誰かのために動く」ことのできる生徒を育てていきたいと思っています。



【全国の舞台で、地域の舞台で】

夏休みから 2 学期にかけて、本校生徒の活躍が続いています。陸上競技部、卓球部、バレーボール部、ソフトテニス部、野球部、吹奏楽部、地域の剣道クラブなど、多くの生徒がそれぞれの場で努力を重ね、表彰を受けました。中でも陸上競技では、全国大会に出場する生徒もあり、その活躍は NHK でも紹介されました。全国という大きな舞台で本校生徒が力を発揮していることを、たいへんうれしく思います。競技や活動の種類は違っても、目標に向かって努力を続けること、仲間と支え合うこと、そして自分の力を伸ばそうと挑戦することは、学校生活にもつながる大切な力です。これからも、それぞれの場所で自分の可能性に挑戦し、全国レベルの舞台から地域の舞台まで、第十六中の生徒がさまざまな場で活躍することを期待しています。

【3年生 先輩の話を聞く会】

8月28日、3年生を対象に「先輩の話を聞く会」を開催しました。本校を卒業し、現在高校で学んでいる先輩から、高校生活の様子や学習、進路選択について話を聞きました。身近な先輩だからこそ聞くことのできる具体的な話に、生徒たちは真剣に耳を傾け、積極的に質問していました。先輩の経験を聞く中で、進路は「高校を選ぶこと」だけではなく、**その先の自分の学びや生活を考えて選択することが大切**であることを学びました。また、今の学習や日々の生活が、自分の進路につながっていることにも気付く機会となりました。今回の学びを生かし、これから始まる進路選択に向けて、**「自分は何を学びたいのか」「どのような高校生活を送りたいのか」**を考えながら、自分自身の進路を主体的に選んでいってほしいと思います。



【インクルーシブ教育について考える】

夏休み中、教職員を対象に、メインストリーム協会の方を講師にお招きし、インクルーシブ教育についての研修を行いました。ご自身は脳性まひがあり、車いすで生活されています。これまでの学校生活について、「支援学校か支援学級か」といったことを特別に意識することなく、自然な形で学んできた経験をお話いただきました。また、周りの人とともに学び、育ってきた生活をよかったと感じているというお話もありました。実体験に基づくお話を通して、教職員一人ひとりが、「一人ひとりの違いをどのように受け止めるのか」「**ともに学び、育つとはどういうことなのか**」を改めて考える機会となりました。生徒一人ひとりの違いを認め合い、それぞれが安心して学び、成長できる学校をつくっていくこと。今回の研修で得た気づきを、日々の教育活動に生かしていきたいと思います。

【3年生「今、知ってほしい性のこと」】

3年生を対象に、助産院の方を講師にお招きし、「今、知ってほしい性のこと」をテーマとした学習を行いました。中学校卒業を前に、性について正しい知識を身につけ、自分自身や相手を大切にすることについて考える機会です。講話では、生命の誕生に関わる身体の仕組みや、近年増えている性感染症、望まない妊娠を防ぐための方法などについて、具体的に学びました。また、SNSなどを通してさまざまな情報に触れる機会が増えている中で、**得た情報をそのまま信じるのではなく、正しい知識に基づいて考え、判断することの大切さ**についても学びました。性について学ぶことは、自分の身体を大切にすることだけでなく、相手を尊重し、自分と相手の双方を大切にした関係を築くことにもつながります。今回の学びを、これからの生活の中でいかしてほしいと思います。



【スクールカウンセラーに相談してみませんか】

本校には、**スクールカウンセラー**が配置されています。**毎週金曜日**、生徒だけでなく、保護者の方も相談することができます。臨床心理士の資格を持つ専門家で、学校生活のこと、友人関係、子育てのことなど、さまざまな悩みについて相談することができます。「こんなことを相談していいのかな」と思うようなことでも大丈夫です。とても気さくで話しやすい方ですので、一人で抱え込まず、気軽に話してみてください。相談を希望される場合は、担任または管理職等の教職員まで**お電話でご予約**ください。